(株)Mui 清水潤子社長に 里山をご案内いただきました

秋の環境学習(環境園芸だより9月号)

"里山の保全と共生・活用"を考える(9/25)

"里山"私たちの暮らしのすぐ近くに広がる美しい景色を思い浮かべます 里山の価値を見つめなおすため人と自然が共生するため里山を見学しました



(一財)古橋会古橋真人常務理事から 稲武の養蚕をご紹介いただきまし



昔、この奥に民家が三軒ありました

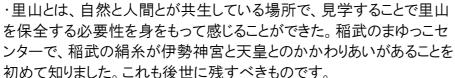
・今日は学び事が多い一日でした。まず里山に行き、そこで暮らすこと の大変さをしみじみ感じました。動物との戦い、自然の厳しさの中で女性 の猟師として生活されている姿に感銘を受けました。また、古橋懐古館 の古橋さんのお話から、先祖代々の家を受け継いでいくご苦労を強く感 じました。とても貴重な一日でした。

・清水さんの環境保全事業の取り組み「人と自然との共生」、農作物被 害を減らしたい思いから猟師になり活躍されていること、応援したいと思 います。「まゆ」「風力発電」「シイタケの育て方」、稲武には魅力的なこと や場所がたくさんあるので、ゆっくりと訪れたいと思いました。

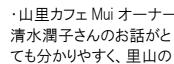




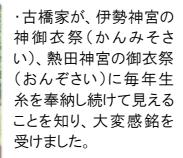
・里山の現状、まゆっこク ラブさんの活動、キノコ栽 培が見れたり、とても内容 が濃く盛沢山でした。面ノ 木風力発電所に行けなく て残念でした。近くで見た かった~。



・多くのことを学び、感銘 を受けた一日でした。 昨今、鳥獣被害が問題に なっている甲山、担い手 がなくて放置された野山 の現状を感じることができ ました。



現状と維持保全活動の様子がよくわかりまし た。今は使われなくなった廃屋を地域の人た ちと片付けてみえること、竹が一面に生えて 大変な作業をされていると思います。旦那様 が廃屋までの山道の草刈りをされたそうです。 ありがとうございます。



・市街地に住む私にとっ て里山は空気がきれい でよい環境のように思え るが、山の管理や獣害 を思うと大変なことだと 感じた。シイタケの菌床 栽培について初めて知り 勉強になりました。



古橋懐古館で伝統を受け継いで ゆく大切さ、難しさを伺いました



まゆの糸引き作業を 見ることができました

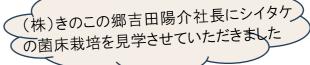


にぎたえしるく



まゆの花



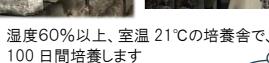


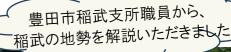


いっぱいのシイタケ



培養舎から発生舎へ移動 菌床は3回発生操作します







昼食をとりながら. 面ノ木風力発雷所の説明を受ける



郷土資料館「ちゅ~ま」の前で 稲武の名所の紹介を受ける



奥矢作第1発電所前で 揚水式ダムの特徴を勉強する



使われなくなった炭焼き小屋 「わくわく事業」第1号

